

令和3年 教育委員会

第16回 定例会 議事日程

令和3年9月28日（火）

第1 報 告

【子ども総務課】

(1) 令和3年第3回区議会定例会の報告

【学務課】

(1) 令和4年度入学 神田一橋中学校（通信教育課程）の生徒募集について

【指導課】

(1) 学校生活アンケートの結果について（再報告）

(2) いじめ、不登校、白鳥教室の状況報告

(3) 令和3年度 東京都児童・生徒 体力、生活運動習慣等調査結果

第2 その他

【子ども総務課】

(1) 教育委員会行事予定表

(2) 広報千代田（10月5日号）

令和3年第3回区議会定例会 教育委員会関係質問・答弁概要

共産	木村 正明 議員	代表質問	2
質問要旨	1 新型コロナ対策について (4) 学校、保育園、学童クラブ等において、PCR 検査の実施と自宅で行える迅速な簡易検査を実施することを提案する。		
答弁者	子ども部長		

<子ども部長>

木村議員の新型コロナ対策に関するご質問のうち、学校、保育園、学童クラブ等における PCR 検査等のご質問にお答えいたします。

学校はもとより、幼稚園、保育園、児童館や学童クラブなどの現場におきましては、換気や清掃、消毒、そして飛沫が飛ばないように対策など、様々な感染防止対策を日々行っております。これに加えて、7月～8月にかけて、これらの学校や子育て支援施設に従事する職員に対しまして、東京歯科大学ご協力の下、新型コロナウイルスワクチンの予防接種を実施いたしました。総勢 1,668 名の職員がワクチン接種を希望し、2 回の接種を終えたところでございます。

また、新型コロナウイルス感染の有無につきましては、正確な診断と感染者への適切なケア、そして感染拡大防止対策を適切に実施することが肝要だと認識しております。このため、各施設において感染が判明した場合には、保健所が接触状況等の調査を行った後、必要に応じて PCR 検査や抗原検査を実施するなど、迅速かつ適切に対応しております。また、国から学校に配付される抗原簡易キットを使用する際においても、あらかじめ検査に関する研修を受けた教職員が立ち会うことや、検査の正確性等をより期すため、医師等による検査を推奨しております。従いまして、現段階におきましては、自宅で行える簡易検査の積極的な活用は、なかなか難しい状況にあると考えております。

公明	米田 かずや 議員	代表質問	3
質問要旨	新型コロナウイルス対策について ○学校における抗原簡易キットについて ・どのくらい抗原簡易キットを確保しているのか。 ・使用する際の体制や研修方法はどのようにするのか。 ○夏休み明けの自殺対策について ・心のケアを行っていく必要がある。 ・学校から区の相談窓口など関係諸機関に確実につなげ、都の相談事業等を活用すべきと考える。また保護者へのフォロー体制も併せて行っていくべきと考えるが見解を問う。		
答弁者	教育担当部長		

<教育担当部長>

米田議員の新型コロナウイルス対策のご質問のうち、学校における抗原簡易キットと自殺対策についてお答えいたします。

最初に、学校における抗原簡易キットについてですが、今回国から配付される抗原簡易キットの使用については、議員のご質問にもあるように、基本的には教職員が使用することを想定し、保護者の同意を得た場合には小学校4年生以上の児童・生徒

への使用も可能となっております。使用にあたっては、国の定めるガイドラインに基づき対応する必要があり、教職員の負担増につながることも考えられます。ご質問の本区への配付数量ですが、国の定めた全国の自治体の配付計画により、1箱10個入りで25箱が配付される予定です。また、使用するときの体制や研修方法については、引き続き保健所や学校医等の関係機関と連携を密にすることを基本としつつ、学校現場と協力しながら研修を実施してまいります。

次に夏休み明けの自殺対策についてですが、まず、児童・生徒の心のケアについては、議員ご指摘のとおり、18歳以下の自殺は長期休業明けに増加する傾向があることから、児童・生徒の小さな変化を見逃さずに必要なケアを行うことが重要であると認識しております。各学校では、夏季休業前には「不安や悩みを抱えたときに、身近にいる信頼できる大人に相談することの大切さ」について、校長講話、学級指導等の機会を捉え、全ての児童・生徒を対象とし指導しました。また、夏季休業日明けにも、教育委員会から学校宛に「児童・生徒の自殺予防に係る取組について」を通知し、各学校においてチェックリストやアンケートを用いて、支援が必要な児童・生徒の早期発見・早期対応に向けた取組を行っております。そして、大人が子どもの声に耳を傾け、不安や悩みを寄り添い、子どもたちの良さや成長を見つけて子ども一人一人に伝えることで、子どもの元気や生きる意欲につなげる「エール・ウィーク」の取組等も実施しております。また、学校から区の相談窓口などに確実につなげ東京都の相談機関を活用することへの見解ですが、子どもの心の不安を和らげるためには、いつでも、だれでも、どんなことでも、安心して相談できる環境を整え、学校、家庭、関係諸機関、地域が一体となって心に寄り添うことが必要であると認識しております。本区では、児童・生徒がSOSを発信できるよう、区事業の「いじめ・悩み相談ホットライン」、都事業の「相談ほっとLINE@東京」「話してみなよ 東京子供ネット」等の連絡先を一覧にしたプリントや名刺サイズの相談カードなどを、年度始まるの4月初旬、夏休み前の7月初旬、2学期初めの9月初旬に各校で配布して周知しております。先にも述べましたが、チェックリストやアンケートなどの取組、教員やスクールカウンセラーによる相談などから、子どもの状況に応じて必要な支援につなげるべく、警察や児童相談所等の関係機関と連携し、子どもの命の安全を最優先に考え取り組んでおります。また、保護者の方々へのフォロー体制については、区事業の「いじめ・悩み相談ホットライン」や児童・家庭支援センターの教育相談で相談を受け付けており、これらについても連絡先の一覧に記載しております。

これらの取組を通して、引き続き児童・生徒に対して万全な自殺防止策を講じるとともに、保護者への支援も進めてまいります。

自民	西岡 めぐみ 議員	一般質問	1
質問要旨	<p>○本区での東京2020大会レガシー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五輪レガシーが幼い子供達に記憶される様な行事を歳児に合わせ行ってもらいたい。 <p>○学校園での新型コロナ感染症拡大に対し、施設整備等を含め拡大防止対策をどのように強化していく予定か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校園での衛生蛇口や自動水栓蛇口など、ほかにも施設改修面での非接触が見出せないか。 ・オンライン授業やハイブリッド型授業などの、現在本区での学校園での感染防止のための強化策について <p>○園での感染防止強化策は何か。各園で保護者向けに感染症防止のためのアンケートを取り、現場で活かしていくべき。</p> <p>○保育園におけるICT環境の整備について</p>		

<教育担当部長>

西岡議員の、東京五輪レガシーと学校園での新型コロナ感染拡大防止策についてのご質問にお答えいたします。

最初に東京五輪レガシーについてですが、議員ご指摘のとおり、東京 2020 大会をレガシーとして子どもたちへつないでいくことは、教育委員会としても大変重要であると捉えております。本区ではオリンピック・パラリンピック教育について、平成 27 年度に東京都教育委員会より研究指定を受け、平成 28 年度からは全校及び幼稚園・こども園で進めてまいりました。こうした取り組みの中で継続的に育ててきた「ボランティアマインド」、「障害者理解」、「スポーツ志向」、「日本人としての自覚と誇り」、「豊かな国際感覚」の 5 つの資質・能力を、これからの学校教育にも引き継いでいくことは、欠かすことができないと認識しております。今後の具体的な取り組みとしては、議員ご提案のオリンピックやパラリンピックのアスリート等との直接的、間接的な交流も視野に入れ、これまで培ってきた特色のある取り組みも大切にしながら、学校だけでなく保育園も含め、人生の糧となるようなかけがえのないレガシーを、子どもたちの心と体に残す様な行事を実施してまいります。

次に、学校園での新型コロナ感染拡大防止策についてですが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、非接触に対するニーズが高まっていることは議員ご指摘のとおりです。特に自動水栓は接触感染予防のほか節水効果もあることから、導入する自治体も増えております。現在、区立学校園・保育園においては、現場からの要望に対応する形で、順次トイレや廊下にある手洗い場での自動水栓またはレバー水栓への交換を行っているところです。引き続き、学校・園の要望も聴きながら、消毒作業以外の現場のニーズに応じた衛生環境の改善に取り組んでまいります。また、オンライン授業やハイブリッド型授業などの感染防止強化策ですが、感染症対策を徹底しながら、学校・園の運営を継続していくことを基本としつつ、こうした状況下において、感染不安等により登校できない児童・生徒に対しても、オンラインを活用すること等による、学びの継続に努めております。教育委員会としては、夏休み期間中に、各学校にオンライン学習の実践事例等を紹介するなど、一人一台タブレット端末を活用した授業実践の充実に向けた取り組みをしております。今後も、コロナ禍での子どもたちの学びを保障するために、学校現場と協力して、ハード・ソフト両面での感染防止強化策の拡充に努めてまいります。

<子ども部長>

西岡議員の感染防止強化のためのアンケートの活用についてのご質問にお答えいたします。

保育園につきましては、マスクの着用を含め、密を防ぐ取り組みなどがそもそも難しい現場ではありますが、掃除や消毒をはじめ、様々な工夫を重ね、日々の保育にあたっている状況でございます。また、保護者の皆様方にも、発熱をしている子は当然のこと、具合のすぐれない子については登園をお控えいただくよう繰り返しお伝えし、ご協力を頂きながら感染の防止に努めている所でございます。

議員ご提案の、各園における保護者向けアンケートの活用につきましては、毎日保育園をご利用なされている保護者ならではの視点からのご指摘、ご意見を頂くことで、感染防止策のみならず、園の運営をより良くしていくヒントが得られるのではないかと考えております。従いまして、何らかの形でご意見をいただけるようなしくみを各園とともに検討し、実施してまいりたいと考えております。

次に「区立保育園における ICT 環境の整備について」のご質問にお答えいたします。

新型コロナウイルス感染症の流行は、園運営において保育のあり方、特に ICT 機器

の活用を考える転機となりました。

新型コロナウイルス感染症流行以前に行っておりました保護者の保育参観、行事への参加が難しくなり、保護者会も開催されない状況の中、ICTを活用することにより、円滑な保護者との関係を構築している例も聞いているところでございます。

また、議員ご指摘の通り登降園でのICカード記録管理や園児の午睡チェック、また、保育日誌の作成や健康状態の一括管理など、ICT機器の活用は保育士の業務負担を軽減することで、子どもと向き合う時間を増やし、結果的に保育の質の向上につながるものと認識しております。

従いまして、今後、区立保育園におきましてもWi-Fi環境の整備とタブレット端末の配付、ICT機器の活用を図ってまいります。

また、保育園でのICT化を推進していくためには、園長等がその有効性について認識を深めるとともに、活用方策について保育士自身が様々なアイデアを出し合うことも大切であると考えますので、現場の意見も十分に取り入れながら、新たな保育環境の整備、園運営の充実に、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

公明	大串 ひろやす 議員	一般質問	2
質問要旨	<p>○今後の保育・教育の基本的な考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「共育ビジョン」の改定スケジュールはどのようになっているのか。現ビジョンの目標「子どもの健やかに育つ権利の実現」「つながりの中で大人も子どもも育つ」という共育の理念は引き継ぐのかも含め、所見を教育長に問う。 <p>○新型コロナ対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今こそ、子どもと親育ちの社会を支えるとの原点に立ち返り、子どもと保護者（親）への支援を行う必要がある。コロナ禍における子どもと親育ち、また親と子の関係性への支援についての考え方と具体的事業について <p>○今後の保育・教育のあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所での定員割れを受けた今後の子育て事業について 		
答弁者	教育長、子ども部長		

<教育長>

大串議員のご質問のうち、今後の保育・教育についての基本的な考え方につきましてお答えいたします。

本区の教育委員会におきましては、平成28年3月、「共に育つ」「共育(ともいく)」を基本理念とする「共育(きょういく)ビジョン」を策定いたしました。この基本理念に基づく子どもたちとの関係性につきまして、大串議員は「子どもの主体性を尊重し、またどんな小さなサインであっても受け止め応えてあげる受容的で応答的な関係」とご説明されました。

このご指摘、私も全く同感でございます。

この関係性は、幼児期の教育、保育から連なる教育の本質を捉えたものであり、「令和の日本型学校教育」に示された「主体的・対話的で深い学び」の実現にも繋がる大変重要なことだと思っております。

現在、技術革新やグローバル化の進展などにより、子どもを取り巻く環境は日々刻々と変化しております。また、新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、子ども達の学習環境や日常生活にも大きな影響を与えております。こうした環境の変化も踏まえまして、本区の「共育(きょういく)ビジョン」について、改定の議論に着手したところでございます。

「共に育つ」「共育(ともいく)」という言葉そのものを引き続き使うかどうかは分

かりませんが、少なくとも、議員からご評価を頂いております、現ビジョンで目標として掲げた「子どもの健やかに育つ権利」また「つながりの中で大人も子どもも育つ」とした基本理念そのものは、継承しても良いのではないかと、私は考えております。

いずれにいたしましても、今後、教育委員会内部で大いに議論を重ね、今年度内での改定をめざしてまいります。

<子ども部長>

大串議員のご質問にお答えいたします。

まず、コロナ禍における「子育て」と「親育ち」、また「親と子の関係性への支援」に関するご質問についてでございます。

今般のコロナ禍におきましては、外出も、また気分転換すら儘ならない生活が続いております。こうした中での子育ては想像以上に困難であると、私どもも認識しております。こうした状況であるからこそ、大串議員ご指摘のとおり、子どもと親の育ちを地域全体で温かく支えることは大変重要であり、「子育て」が「(孤立した) 孤育て」にならないように、親と子の関係性に重きを置いた支援をしていく必要があると考えております。

従いまして、大串議員がご例示いただきました、地域全体で子育てを支援する子育て支援員養成講座の実施や、各園や児童館での一時預かり保育、子育てひろばのような事業につきましては、継続して取り組んでまいります。また、コロナ禍での感染リスクに配慮したオンラインの活用も含めまして、親と子の関係性への支援を充実させる新たな取り組みにつきましても検討を進めてまいりたいと考えております。

次に、「定員割れの要因分析と今後の子育て事業」のご質問についてでございます。

今後の保育の需要と供給につきましては、「子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策」において見込んでおりましたが、策定直後に発生した新型コロナウイルス感染症の影響により、想定していた保育需要には至っておらず、保育所の利用に空きが生じているところでございます。

テレワークの推進など新たな生活様式の浸透により、これまでのような保育需要が無くなるのか、あるいは保育需要が以前のように回復するのか、新型コロナウイルス感染症が収束していない現状におきましては、今後の保育需要を正確に予測することが困難な状況であることは、大串議員ご指摘の通りでございます。

つきましては、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見定めた後に、保育需要と供給計画の見直しについて、その必要性を含めた検討を行ってまいります。

次に、「定員割れが保育所に及ぼす影響と対応策」のご質問についてでございます。

一定程度の定員割れ、特に0歳児の年度当初に限ったものであれば、保育事業者においても想定されていたところでございます。

しかしながら、現在の状況は、園児数に応じて国等からの補助負担金額が決定される保育事業の運営におきまして、経営面で多大な影響があると考えております。

このため、保護者のニーズを把握するとともに、各保育事業者の意向を丁寧に伺ってまいります。

そして、各歳児の定員を変更することや空き室を有効活用することなどを含め、各保育施設と緊密な連携を図りつつ、事業継続への支援を進めてまいります。

自民	河合 良郎 議員	一般質問	4
質問要旨	(仮称) 子ども総合サポートセンター設置について ① 児童虐待についてコロナ禍での本区の現状と対応。 ② 児相設置先行4区との情報共有や連携は行っているか。本区での設置に向けての会議体の設置は。現在の進捗状況や設置に向けての最大の課題は。		
答弁者	教育担当部長		

<子ども部長>

河合議員のご質問のうち、児童虐待への対応と児童相談所設置についてのご質問にお答えいたします。

まず、コロナ禍での児童虐待に対する本区の現状と対応についてでございます。心理的虐待、身体的虐待、あるいはネグレクトなど、虐待に関するご相談をお受けし、対応をした件数は、平成30年度は1年間に184件であったものが、翌年、令和元年度には203件、昨年度には288件と毎年増加してきております。

虐待の事案に対しましては、早期に対応し、具体的、かつ適切な支援に結びつけることが何よりも大切であると認識しております。

従いまして、児童・家庭支援センターにおいて虐待に関するご相談をお受けした場合には、専門職である相談員が迅速に訪問調査や面談を行いますとともに、児童相談所や警察等の関係機関とも緊密な連携を図り、虐待の深刻化の防止と解決に努めているところでございます。

また、コロナ禍で感染リスクを重視する相談者のご要望に沿えるよう、対面方式によらないオンライン相談にも着手をしたところでございまして、引き続き精力的に対応してまいります。

次に、東京都児童相談体制等検討会の検討状況についてでございます。この会議体は東京都福祉保健局、及び都内区市町村の関係部課長が参加し、都の児童相談所と子供家庭支援センターとの連携モデルやICTの活用、特別区児童相談所の運営状況、さらには人材の有効活用に向けた人事交流等について、検討・協議されております。

次に、児童相談所設置先行4区との情報共有や連携についてでございますが、特別区、23区の担当課長会等の会議体を活用して、定期的に情報共有や情報交換に努めるとともに、特別区職員研修所での研修にも先行区の職員を講師として招き報告会を開催するなど、特別区全体で積極的に連携を図っているところでございます。

次に、本区における検討状況についてでございます。

本区におきましては、児童相談所設置に向けた調整会議体として、関係部課長をメンバーとする庁内検討会を平成25年度から設置し、検討を続けているところでございます。

本区独自で児童相談所を設置するにあたっての最大の課題につきましては、全国的に児童虐待の件数が増加しているという状況下におきまして、虐待に対応していく際の核となる専門職員、特に児童福祉司の確保、あるいは育成が、設置を目指す区にとりまして共通の課題となっております。

また、本区におきましては、一時保護所や児童福祉施設を設置し、運営していくことにつきましても大きな課題となっております。

今後、東京都や他区の動向を注視しつつ、課題解決の方向性を探ってまいりますとともに、専門的人材の確保、育成を図りながら児童・家庭支援センターの機能強化に努めてまいります。

そして、子どもたちの最善の利益の実現のために、切れ目のない対応に尽力すると同時に、虐待等の未然防止にも積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

都民ファ	小野 なりこ 議員	一般質問	10
質問要旨	(1)最寄りの児童館が日曜日も開放されることを望む声がある。今後の区立児童館4館の日曜一斉開放について検討の余地など考えをうかがう。 (2)保育園利用の保護者から日常的に意見収集できる仕組みについて		
答弁者	子ども部長		

<子ども部長>

小野議員のご質問のうち、「区立児童館の日曜開放」と、「保育園利用の保護者からの日常的に意見収集できる仕組み」に関するご質問にお答えいたします。

区立児童館の日曜開放は平成23年度にスタートいたしました。

平成23年度には毎月1回、4館ある区立児童館のうち、1つの児童館において、乳幼児親子を対象に開始したところでございます。そして平成26年度からは、対象を小学生親子へと広げ、各館が交代制で、1館あたり年9回、4館を合計いたしますと年間36回日曜日に開館している状況でございます。

一方、日曜日を含めまして、子どもの遊び場、安心して子どもと一緒に過ごせる居場所として、児童館の果たす役割は大変重要であると認識しております。

限られた職員態勢の中、併設しております学童クラブも含め、安全な児童館運営を継続するという点を考慮いたしますと、直ちに4館一斉の日曜開放を実施することは、中々難しい状況ではございますが、段階的な拡充も含めまして、鋭意検討してまいりたいと考えております。

次に、「保育園利用の保護者から日常的に意見収集できる仕組み」についてのご質問にお答えいたします。

質の高い保育を実現するためには、保育現場の職員一人ひとりが「こうしたらもっと良くなるんじゃないか」「こうすれば喜ばれるんじゃないか」という視点を持ちながら、改善策を話し合う機会を日々作り出すこと。そして、できるだけ多くの職員が様々な幼児教育、保育の現場を見て、学ぶこと。この視点は欠かすことができないと認識しております。

さらに、小野議員ご指摘のとおり、保護者の皆様方から日常的に頂くご意見、ご指摘は、保育の質を向上させるにあたり、多くのヒントが得られるとともに、保護者の皆様方とともに子どもたちを育てていくという意味からも大変大切な視点であると考えております。

一方、保育園送迎時は、あわただしいことに加えまして、面と向かってはなかなか意見を言いにくいこともあろうかと思っております。

従いまして、保護者の方から気軽に意見を集約する仕組み、各園によって適した方法を、区と園とで検討し、試行錯誤を重ねてまいりたいと考えております。そして保護者と園と一緒に子どもの発達を支えられる環境を整えることで、保育の質の向上に努めてまいります。

共産	牛尾 こうじろう 議員	一般質問	11
質問要旨	〇コロナ禍における児童の学びについて 区として一人一台タブレットの導入から1年が過ぎた現在、子どもへの影響を定期的に検証していく必要があると思うが、区の見解を問う。		
答弁者	教育担当部長		

<教育担当部長>

牛尾議員の、一人一台タブレットの子どもへの影響の検証についてのご質問にお答えいたします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中で新学期を迎え、本区では、マスク着用や消毒、換気などの感染症対策を徹底しながら学校・園の運営を継続していくことを基本としつつ、各学校で感染不安等により登校できない児童・生徒に対しても、オンラインを活用すること等による、学びの継続に努めています。

議員のご質問にあります、タブレットを使用する際の児童・生徒の健康への影響につきましては、導入当初より各学校で配布している「タブレット活用のルール」に基づき日頃より使用の仕方などを指導しているところです。具体的には、正しい姿勢で画面に近づきすぎないように気を付けること、30分に1度は目を休ませること、一日に使用する時間を決めること等を各学校で指導しております。

議員ご指摘のように、タブレット端末を授業等での活用を進める一方で、使用する児童・生徒の心身の健康への影響も考慮していく必要があると認識しており、定期的な検証の必要性についても研究をしつつ、学校教育でのICTの活用を進めてまいります。

共産	飯島 和子 議員	一般質問	12
質問要旨	区立九段中等教育学校の男女別定員制度について ① 同じ点数でありながら、男女で合否が異なることは不合理ではないか。 ② 男女別の定員枠廃止についての見解と廃止に向けた検討を求める。 ③ 入学願書で性別記入を強制することは、性的少数者に対して門戸を閉ざすことになるのではないか。		
答弁者	教育担当部長		

<教育担当部長>

飯島議員のご質問のうち、区立九段中等教育学校の男女別定員制度について、お答えいたします。

区立九段中等教育学校の入学者の決定については、「千代田区立九段中等教育学校入学者決定に関する実施要綱」で定めております。

本実施要綱は、都立中高一貫教育校の実施要綱に準じ定めており、これは東京都全体の子どもの男女比や私立学校（女子校、男子校、共学校）の定員の構成比等を総合的に勘案して、男女別定員制度を採用しているものと考えられます。

こうした経緯の中で、区立九段中等教育学校も男女別定員制度を採用していることから、議員ご質問の「同じ点数でありながら、男女で合否が異なる」場合があるかもしれませんし、「入学願書に性別記入欄がある」ことも生じております。

いずれにしても、東京都議会において、都の教育長が「男女別定員による不公平感を低減し、より男女平等な入学者選抜とすることを目指す」と答弁していることから、東京都においてもこの男女別定員制度についての見直しが行われると考えられます。本区としても東京都の動向を注視し、都の見直しに沿った形で男女別定員制度について検討してまいります。

令和4年度入学 神田一橋中学校（通信教育課程）の生徒募集について

1. 出願資格

次のAまたはBのいずれかに該当する者

A【本科生】

次のすべての条件に該当する者

- ① 昭和21年3月31日以前の尋常小学校卒業者及び国民学校初等科修了者
- ② 高等学校に入学する資格のない者

B【別科生】

次のすべての条件に該当する者

- ① 諸事情により中学校で十分に学べなかった者
- ② 令和4年4月1日現在、満65歳以上の者
- ③ 都内に在住または在勤している者
- ④ 出願者Aに準ずる者

2. 募集人員

10名程度

3. 願書受付

令和3年11月1日（月）から令和3年11月19日（金）まで

4. 出願方法

出願書類を下記に提出する（郵送可、11月19日消印有効）

〒101-0003

千代田区一ツ橋2-6-14 神田一橋中学校 通信教育課程

5. 入学者選考方法

書類選考及び小学校程度の学力調査、面接

6. 入学者選考日程

令和3年12月4日（土）午後

7. 入学許可

選考日から約1週間で、郵送によって通知する。

8. その他

- ① 修業年限は原則3年とし、中学校の全教育課程を修了した場合には、卒業時に卒業証書を授与する。
- ② 授業料は無料とする。なお教材の実費等が必要となる場合がある。

令和3年度 学校生活アンケートの結果（概要）

教育委員会資料
令和3年9月28日
指 導 課

この調査は、学級満足度尺度（いごちのよいクラスにするためのアンケート）と学校生活意欲尺度（やる気のあるクラスをつくるためのアンケート）、ソーシャルスキル尺度により構成されており、児童・生徒一人一人についての理解とその対応方法、学級集団の状態と今後の学級経営の方針を把握することができる。本区において小学4年生以上の全児童・生徒を対象に（令和3年度は全ての小学校において1～3学年でも実施）ハイパーQ Uを実施している。

各校で行った学校生活アンケートの結果について、概略を報告する。

I 学級満足度尺度結果

B群	A群
C群	
要支援群	D群

トラブルやいじめなどの不安がなくリラックスできている（被侵害得点）と、自分が級友から受けいれられ、考え方や感情が大切にされていると感じられる（承認得点）を座標軸化し、下の四つのタイプに分けて理解する。

学級生活満足群（A）・・・学級内に自分の居場所があり、学校生活を意欲的に送っている
 侵害行為認知群（B）・・・いじめや悪ふざけを受けているかトラブルがある可能性が高い
 学級生活不満足群（C）・・・いじめや悪ふざけを受けているか、非常に不安傾向が強い

不登校のリスクが高い

※要支援群・・・・・・・・・・不満足群の中でも、いじめ被害や不登校になる可能性がとて高く、早急に個別対応が必要な状態

非承認群（D）・・・いじめや悪ふざけを受けてはいないが、学級内であまり認められていない

II 本区の学級満足度尺度結果（小1年～中・中等3年）

小学校

（単位は%、端数があるため合計は100にならないことがある）

	学校生活満足群			非承認群			学級生活不満足群			侵害行為認知群		
	区	全国	差異	区	全国	差異	区	全国	差異	区	全国	差異
小1	48	42	△	23	19		12	22	△	16	17	
小2	49	42	△	19	19		17	22	△	16	17	
小3	60	42	△	15	19		14	22	△	11	17	△
小4	53	43	△	17	18		19	23		11	16	△
小5	60	43	△	14	18		14	23	△	12	16	
小6	56	43	△	19	18		18	23	△	7	16	△

中学校・中等教育学校（前期課程）

	学校生活満足群			非承認群			学級生活不満足群			侵害行為認知群		
	区	全国	差異	区	全国	差異	区	全国	差異	区	全国	差異
中1	49	41	△	22	18		22	28	△	7	13	△
中2	55	41	△	14	18		21	28	△	10	13	
中3	47	41	△	17	18		26	28		10	13	

※全国平均に対して、△5%以上の肯定的な差異を、▼は5%以上の否定的な差異を表しています。

Ⅲ アンケート結果の分析

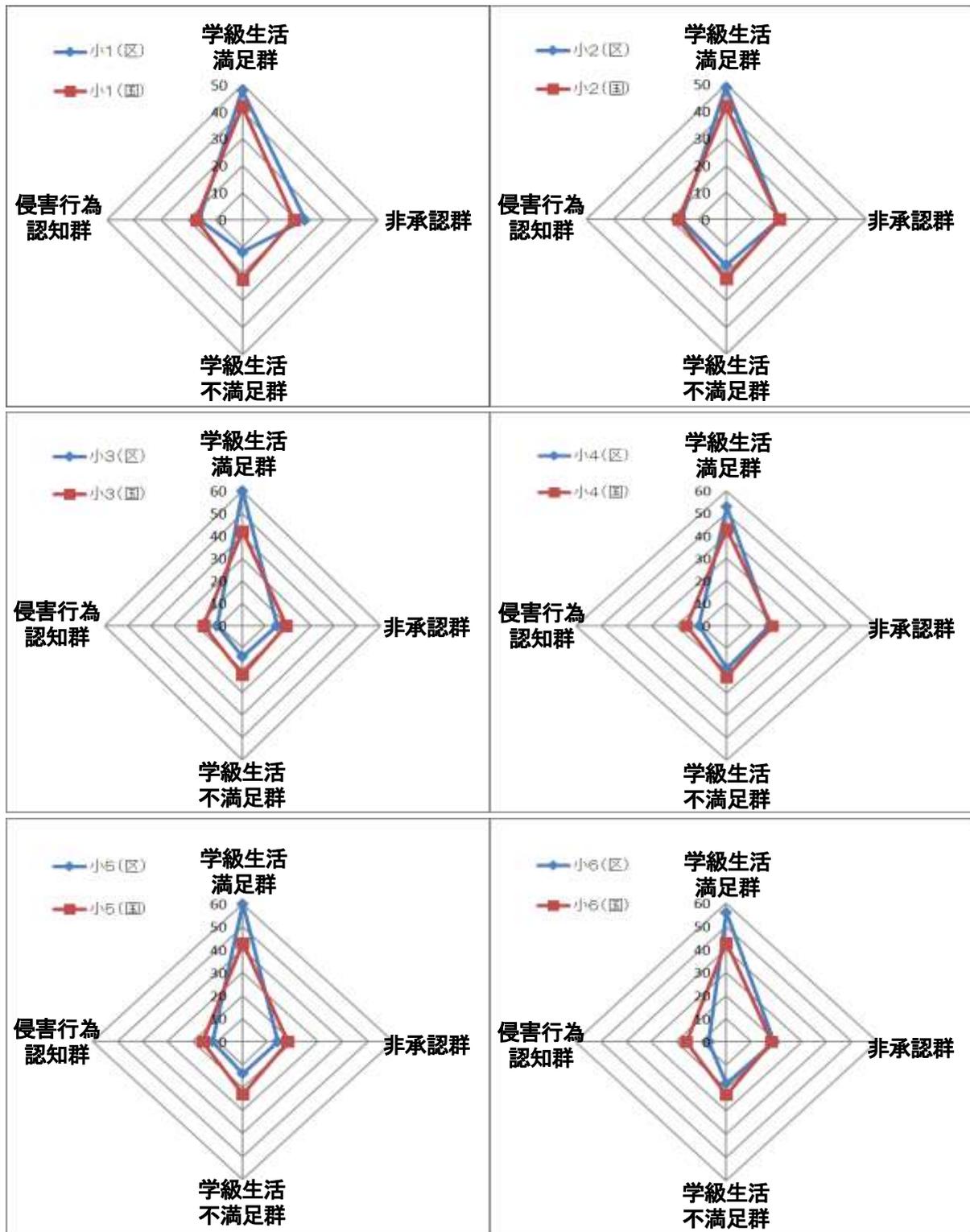
【小学校】

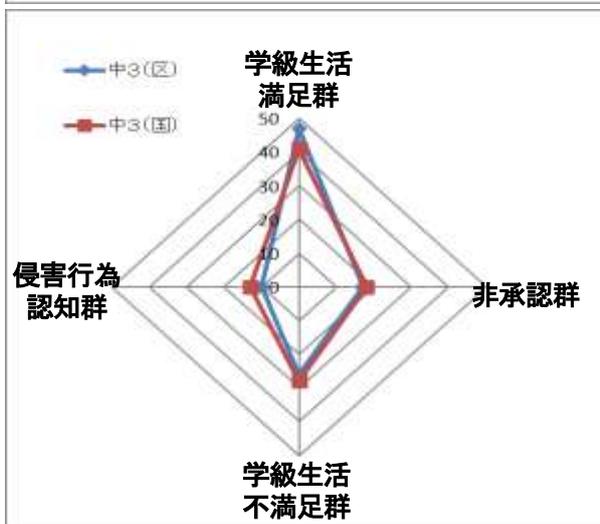
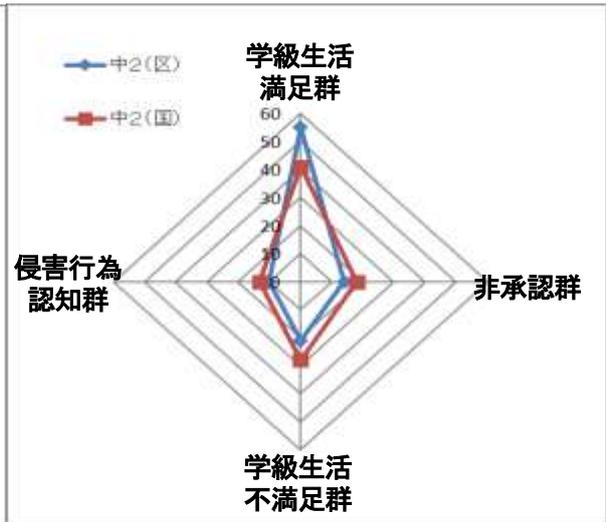
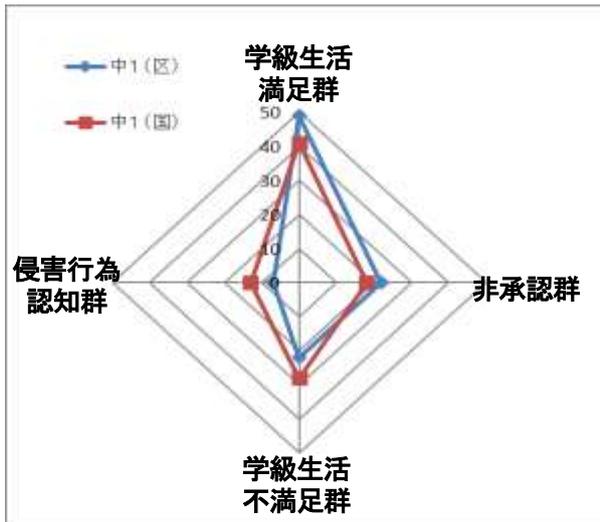
- 学校生活満足群は、いずれの学年においても全国平均を大きく上回っている。この結果より、区内児童の多くは、学校生活に満足していると考えられる。
- 非承認群は、小学校1年、6年で上回っており、特に小学校1年生は4ポイント全国平均を上回っている。この結果より学級内で認められていると感じている1，6年児童の割合が全国平均に比べて低いと考えられる。
- 学校生活不満足群は、いずれの学年においても全国平均を下回っている。この結果よりいじめや悪ふざけを受けている児童、非常に不安傾向の強い児童、不登校のリスクが高い児童の割合が全国平均に比べて低いと考えられる。
- 侵害行為認知群は、いずれの学年においても全国平均を下回っている。この結果よりいじめを受けているかトラブルがある可能性が高い児童の割合が全国平均に比べて低いと考えられる。

【中学校・中等教育学校（前期課程）】

- 学校生活満足群は、いずれの学年においても全国平均を大きく上回っている。この結果より、区内生徒の多くは、学校生活に満足していると考えられる。
- 非承認群は、中・中等教育学校1年生においては4ポイント全国平均を上回っている。この結果より中・中等教育学校入学後、学級内で認められていると感じている生徒の割合が全国平均に比べて低いと考えられる。
- 学級生活不満足群は、いずれの学年においても全国平均を下回っている。この結果よりいじめや悪ふざけを受けている生徒、非常に不安傾向の強い生徒、不登校のリスクが高い生徒の割合が全国平均に比べて低いと考えられる。
- 侵害行為認知群は、いずれの学年においても全国平均を下回っている。この結果よりいじめを受けているかトラブルがある可能性が高い生徒の割合が全国平均に比べて低いと考えられる。

(別紙) 学級満足度尺度結果まとめ (学年別)





いじめ、不登校、白鳥教室の状況(令和3年8月末の報告)

教育委員会資料
令和3年9月28日
指導課

校種	学年	いじめ報告数			不登校者数		白鳥教室利用者数		
		今月未解消	今年度解消(転出含)	今年度累計	今月不登校者	今年度累計	今月利用者数	今月登録者数	先月末登録者数
小学校	1年	1		1	1	1			
	2年	2		2	2	2			
	3年				2	2		1	1
	4年				5	5		2	2
	5年	1		1	4	4			
	6年	1	1	2	10	10		1	1
中・中等(前期)	1年				7	7		3	3
	2年				10	11		6(+2)	4
	3年	2		2	11	11		5	5
中等(後期)	4年				2	2	/	/	/
	5年				2	2			
	6年				2	2			
計	合計	7	1	8	58	59	0	18	16

令和3年度 東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査結果（東京都と千代田区の比較）男子 R3.8.1時点

東京都	学年	参加人数	身長(cm)		体重(kg)		握力(kg)		上体起こし(回)		長座体前屈(cm)		反復横とび(点)		持久走(秒)		20mシャトルラン(回)		50M走(秒)		立ち幅とび(cm)		ソフトボール投げ(m) ハンドボール投げ(m)		体力合計点		
			人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数
男子	小学校	1年	51,875	51,578	117.06	51,578	21.35	51,587	8.83	47,553	10.87	51,239	25.95	49,736	26.26			47,235	16.94	51,345	11.45	51,336	112.76	50,988	7.23	45,469	29.24
		2年	51,031	50,701	123.08	50,713	24.02	50,713	10.53	46,752	13.32	50,241	27.68	49,094	29.79			46,662	25.09	50,422	10.56	50,304	124.03	50,187	10.19	44,876	36.23
		3年	50,219	49,901	128.77	49,897	27.06	49,864	12.41	46,333	15.44	49,435	29.80	49,104	33.01			46,313	31.66	49,543	10.03	49,573	134.43	49,359	13.53	44,315	42.13
		4年	50,159	49,911	134.17	49,911	30.52	49,761	14.27	46,182	17.57	49,356	31.77	49,114	36.88			46,376	38.95	49,352	9.59	49,444	143.28	49,171	16.83	44,193	47.86
		5年	50,628	50,413	139.63	50,399	34.05	50,260	16.35	46,880	19.21	49,824	33.95	49,519	40.83			46,869	45.85	49,672	9.24	49,909	152.77	49,707	20.05	44,793	53.27
		6年	50,198	49,991	146.15	49,971	38.75	49,802	19.19	46,655	20.99	49,452	36.03	49,167	44.04			46,644	53.28	49,280	8.83	49,510	163.91	49,269	23.56	44,588	58.97
	中学校	1年	39,328	38,242	154.25	38,119	44.17	38,783	23.51	37,854	23.06	38,445	38.99	38,246	48.31	25,174	436.09	17,173	62.97	37,663	8.53	38,295	180.85	37,717	17.27	33,446	32.42
		2年	38,515	37,652	161.27	37,535	49.05	37,972	28.56	37,177	25.83	37,691	42.41	37,442	51.48	24,967	396.68	16,238	76.56	36,730	7.94	37,442	196.56	37,023	20.14	33,007	40.13
		3年	37,637	36,922	166.46	36,741	53.64	37,175	33.23	36,439	28.07	36,913	45.98	36,668	54.41	25,144	382.79	15,535	85.11	36,309	7.54	36,737	211.18	36,420	22.90	32,934	47.22
高等学校	1年	20,202	19,580	169.00	19,514	56.90	19,459	36.04	18,871	27.82	19,536	45.58	19,733	55.33	12,291	398.45	6,858	79.26	19,110	7.50	19,775	218.56	19,082	22.96	16,624	47.61	
	2年	20,337	19,709	170.47	19,617	59.09	19,663	38.44	18,784	29.19	19,732	47.64	19,916	56.98	12,117	388.40	7,099	84.20	18,834	7.35	19,953	224.72	19,230	24.23	16,700	51.20	
	3年	20,179	19,617	171.30	19,535	60.64	19,499	39.95	18,621	30.39	19,642	49.37	19,790	57.99	12,315	383.76	6,472	85.34	18,692	7.26	19,876	229.01	18,921	25.00	16,646	53.66	
千代田区	学年	参加人数	身長(cm)		体重(kg)		握力(kg)		上体起こし(回)		長座体前屈(cm)		反復横とび(点)		持久走(秒)		20mシャトルラン(回)		50m走(秒)		立ち幅とび(cm)		ソフトボール投げ(m) ハンドボール投げ(m)		体力合計点		
			区-都	区	区-都	区	区-都	区	区-都	区	区-都	区	区-都	区	区-都	区	区-都	区	区-都	区	区-都	区	区-都	区	区-都	区	
男子	小学校	1年	334	1.01	118.1	0.14	21.49	0.61	9.45	0.47	11.34	-0.19	25.76	1.77	28.03			1.82	18.76	-0.20	11.26	5.11	117.87	0.20	7.43	1.57	30.80
		2年	308	0.63	123.7	-0.04	23.98	0.40	10.93	-0.18	13.13	-0.12	27.56	2.06	31.85			1.65	26.74	-0.16	10.39	4.19	128.22	0.85	11.04	1.67	37.91
		3年	280	0.63	129.4	0.04	27.10	0.38	12.79	0.13	15.56	0.42	30.21	1.87	34.88			3.61	35.27	-0.13	9.91	5.32	139.75	1.04	14.58	2.19	44.32
		4年	248	0.66	134.8	0.79	31.31	0.53	14.81	0.02	17.60	0.78	32.55	1.81	38.69			1.14	40.09	-0.04	9.55	1.82	145.10	1.13	17.96	1.19	49.05
		5年	266	0.47	140.1	0.03	34.08	0.35	16.70	-0.48	18.72	-0.34	33.61	0.28	41.11			0.32	46.17	-0.03	9.20	3.31	156.08	1.30	21.35	0.24	53.51
		6年	263	2.29	148.4	1.33	40.09	0.67	19.86	-0.70	20.29	0.02	36.05	0.64	44.67			-0.14	53.14	-0.05	8.78	5.23	169.14	0.11	23.68	0.40	59.37
	中学校	1年	208	2.40	156.7	2.75	46.91	-0.36	23.15	0.81	23.87	2.34	41.33	1.23	49.55	-11.43	424.65	-1.21	61.75	-0.19	8.34	7.80	188.65	1.67	18.94	3.02	35.44
		2年	237	0.71	162.0	-1.01	48.04	-1.57	26.99	-0.84	24.99	-1.34	41.07	-0.86	50.62	5.18	401.86	-5.35	71.20	-0.12	7.82	5.66	202.23	0.40	20.54	-0.14	39.99
		3年	213	0.62	167.1	0.30	53.94	-2.43	30.81	-1.94	26.14	-0.92	45.07	-0.21	54.19	26.54	409.33	-2.63	82.48	0.05	7.59	1.56	212.74	-0.05	22.85	-1.82	45.40
高等学校	1年	76	0.15	169.2	1.90	58.80	0.23	36.26	3.78	31.60	8.11	53.69	-0.99	54.34	-10.41	388.04			0.01	7.51	13.53	232.09	-1.34	21.63	3.39	51.00	
	2年	74	1.02	171.5	0.29	59.38	-0.63	37.81	3.03	32.22	6.16	53.79	0.87	57.85	-25.12	363.28			-0.17	7.18	9.62	234.34	0.17	24.41	3.93	55.13	
	3年	68	-0.95	170.4	-0.13	60.51	-3.80	36.15	1.94	32.33	5.48	54.85	0.10	58.09	5.02	388.78			0.05	7.31	2.04	231.04	-0.87	24.13	1.63	55.29	

※ 都結果については、平成26年度全国体力・運動能力調査調査結果と比較し、統計学上有意に全国を上回っているものを青字で、下回っているものを赤字で示しています。

※ 区結果については、東京都の調査結果と比較し、約5%以上、上回っているものを青塗り、下回っているものを赤塗り示しています。

令和3年度 東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査結果（東京都と千代田区の比較）女子 R3.8.1時点

東京都	学年	参加人数	身長(cm)		体重(kg)		握力(kg)		上体起こし(回)		長座体前屈(cm)		反復横とび(点)		持久走(秒)		20mシャトルラン(回)		50M走(秒)		立ち幅とび(cm)		ソフトボール投げ(m) ハンドボール投げ(m)		体力合計点		
			人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数
女子	小学校	1年	49,390	49,117	116.08	49,114	20.91	49,167	8.29	45,323	10.65	48,846	28.43	47,421	25.51			45,008	14.04	48,962	11.81	48,904	105.37	48,571	5.10	43,391	29.31
		2年	48,334	48,037	122.14	48,038	23.54	48,071	9.95	44,378	12.98	47,695	30.71	46,542	28.77			44,261	19.71	47,790	10.89	47,752	116.31	47,617	6.78	42,641	36.67
		3年	47,657	47,373	127.97	47,373	26.39	47,412	11.67	44,167	14.98	47,062	33.39	46,756	31.36			44,143	24.21	47,103	10.36	47,191	126.49	46,985	8.57	42,332	42.70
		4年	46,905	46,702	134.33	46,705	29.87	46,644	13.58	43,422	16.99	46,309	35.87	46,049	35.27			43,587	30.05	46,238	9.88	46,363	136.49	46,179	10.58	41,668	48.97
		5年	47,192	47,042	141.29	47,027	34.43	46,920	16.16	43,771	18.40	46,579	38.75	46,284	39.05			43,785	36.17	46,423	9.47	46,653	145.92	46,410	12.56	41,972	55.04
		6年	46,923	46,736	147.63	46,703	39.27	46,630	18.91	43,589	19.52	46,274	41.32	45,978	41.80			43,579	40.91	46,102	9.12	46,293	154.24	46,128	14.30	41,702	60.03
	中学校	1年	36,472	35,808	152.54	35,581	43.50	36,057	21.13	35,297	20.36	35,852	43.01	35,644	44.81	24,357	312.04	15,009	45.51	35,069	9.07	35,636	163.98	35,224	10.85	31,608	42.53
		2年	35,273	34,643	155.47	34,341	46.88	34,848	23.14	34,172	22.36	34,620	45.51	34,405	46.32	23,054	295.76	14,488	51.65	33,791	8.83	34,407	168.01	33,983	12.34	30,525	47.61
		3年	34,786	34,218	157.07	33,805	48.99	34,468	24.43	33,794	23.72	34,271	47.48	34,032	47.37	23,408	295.52	13,740	52.64	33,528	8.72	34,080	171.42	33,852	13.32	30,511	50.58
高等学校	1年	19,821	19,346	157.71	19,142	50.01	19,170	24.84	18,475	23.23	19,246	46.99	19,452	48.46	12,210	311.04	6,246	48.89	18,582	8.85	19,469	173.21	18,643	13.24	16,163	49.84	
	2年	19,981	19,475	158.17	19,233	50.81	19,513	25.57	18,512	23.80	19,456	47.85	19,666	48.90	12,620	309.48	6,437	51.18	18,783	8.87	19,689	174.48	19,217	13.63	16,847	50.87	
	3年	20,164	19,433	158.52	19,174	51.17	19,598	26.01	18,696	24.06	19,622	48.88	19,738	49.23	12,719	310.75	6,093	50.18	18,746	8.88	19,805	175.46	18,997	13.89	16,775	51.46	
千代田区	学年	参加人数	身長(cm)		体重(kg)		握力(kg)		上体起こし(回)		長座体前屈(cm)		反復横とび(点)		持久走(秒)		20mシャトルラン(回)		50m走(秒)		立ち幅とび(cm)		ソフトボール投げ(m) ハンドボール投げ(m)		体力合計点		
			区-都	区	区-都	区	区-都	区	区-都	区	区-都	区	区-都	区	区-都	区	区-都	区	区-都	区	区-都	区	区-都	区	区-都	区	
女子	小学校	1年	278	0.37	116.4	-0.07	20.84	0.43	8.71	0.08	10.73	-0.22	28.21	1.83	27.33			1.02	15.07	-0.18	11.64	4.45	109.82	-0.03	5.07	1.34	30.65
		2年	220	0.22	122.4	-0.05	23.49	0.15	10.10	-0.44	12.54	-0.67	30.04	1.00	29.77			-1.07	18.64	-0.04	10.85	3.97	120.28	0.10	6.88	0.28	36.95
		3年	218	0.51	128.5	0.07	26.46	0.22	11.89	0.04	15.03	0.62	34.01	2.93	34.29			2.23	26.44	-0.16	10.20	5.13	131.62	0.10	8.67	2.09	44.79
		4年	241	0.15	134.5	-0.16	29.71	0.27	13.86	-0.38	16.61	0.74	36.61	2.38	37.65			3.86	33.91	-0.17	9.72	0.80	137.29	0.54	11.11	1.74	50.71
		5年	235	0.73	142.0	-0.52	33.91	-0.03	16.13	-0.83	17.57	-0.11	38.64	0.97	40.02			0.60	36.77	-0.04	9.43	4.65	150.57	-0.05	12.52	0.29	55.33
		6年	207	0.57	148.2	-0.16	39.11	0.09	19.00	-0.90	18.62	-0.87	40.45	-0.18	41.62			-0.65	40.26	-0.03	9.09	4.58	158.82	-0.59	13.71	-0.30	59.73
	中学校	1年	188	0.64	153.2	-0.15	43.34	-0.87	20.26	0.65	21.02	1.55	44.56	1.00	45.80	-11.34	300.70	-4.93	40.58	-0.15	8.93	3.86	167.85	0.51	11.36	1.72	44.24
		2年	176	1.05	156.5	-0.98	45.90	-1.77	21.37	-1.55	20.80	0.56	46.07	-1.85	44.47	12.28	308.04	-5.10	46.56	-0.05	8.78	2.00	170.01	-1.04	11.31	-2.87	44.74
		3年	192	0.58	157.6	0.51	49.51	-0.97	23.45	-1.83	21.89	2.60	50.08	-0.03	47.34	8.27	303.79	-4.28	48.36	-0.06	8.66	4.05	175.47	-0.07	13.24	-0.54	50.04
高等学校	1年	76	1.27	159.0	-0.36	49.65	-0.99	23.84	3.92	27.14	10.99	57.97	-0.46	48.00	-13.64	297.40			-0.02	8.83	16.79	190.00	-1.50	11.74	3.84	53.68	
	2年	76	1.22	159.4	0.40	51.22	-0.35	25.22	4.01	27.81	7.22	55.07	0.80	49.70	-29.49	279.99			-0.26	8.61	11.80	186.27	-0.79	12.85	4.96	55.82	
	3年	72	0.93	159.5	-0.79	50.38	-1.81	24.21	2.69	26.75	10.74	59.62	0.63	49.86	-11.16	299.59			-0.02	8.86	10.26	185.72	0.11	14.00	4.04	55.50	

※ 都結果については、平成26年度全国体力・運動能力調査調査結果と比較し、統計学上有意に全国を上回っているものを青字で、下回っているものを赤字で示しています。

※ 区結果については、東京都の調査結果と比較し、約5%以上、上回っているものを青塗りで、下回っているものを赤塗りで示しています。

教育委員会行事予定表

教育委員会資料
令和3年9月28日
子ども総務課

月	日	曜	時刻	行事(事業名)	場所等	出席者等
9	28	火	15:00~	教育委員会定例会 ◎	教育委員会室	教育委員出席
9	29	水				
9	30	木				
10	1	金		体育祭	麴町中学校	
10	2	土		運動会	麴町小学校・九段小学校	
10	3	日				
10	4	月		指導課訪問(麴町幼稚園) ◎	麴町幼稚園	教育委員出席
10	5	火				
10	6	水				
10	7	木				
10	8	金		指導課訪問(千代田小学校) ◎	千代田小学校	教育委員出席
10	9	土				
10	10	日		学校説明会②(オンライン)	九段中等教育学校	
10	11	月		指導課訪問(お茶の水幼稚園) ◎	お茶の水幼稚園	教育委員出席
10	12	火	15:00~	教育委員会定例会 ◎	教育委員会室	教育委員出席
10	13	水				
10	14	木				
10	15	金		指導課訪問(麴町小学校) ◎	麴町小学校	教育委員出席
10	16	土		運動会	麴町幼稚園・九段幼稚園・番町幼稚園 お茶の水幼稚園・千代田幼稚園・昌平幼稚園 いずみこども園・ふじみこども園	
10	17	日				
10	18	月		指導課訪問(九段中等教育学校) ◎	九段中等教育学校	教育委員出席
10	19	火				

教育委員会行事予定表

月	日	曜	時刻	行事(事業名)	場所等	出席者等
10	20	水		指導課訪問(番町幼稚園)◎	番町幼稚園	教育委員出席
10	21	木				
10	22	金				
10	23	土		体育祭	麴町中学校	
10	24	日				
10	25	月				
10	26	火	15:00~	教育委員会定例会 ◎	教育委員会室	教育委員出席
10	27	水				
10	28	木				
10	29	金				
10	30	土				
10	31	日				
11	1	月		指導課訪問(千代田幼稚園)◎	千代田幼稚園	教育委員出席
11	2	火				
11	3	水				
11	4	木				
11	5	金		指導課訪問(九段幼稚園)◎	九段幼稚園	教育委員出席
11	6	土				
11	7	日				
11	8	月				
11	9	火	15:00~	教育委員会定例会 ◎	教育委員会室	教育委員出席
11	10	水				

「広報千代田」 10月5日号広報原稿一覧

子ども部・地域振興部（文化振興課、生涯学習スポーツ課）22件

課	件名	事業の概略	とき	会場	主催者
			開催日・開催期間	住所は区立施設以外のみ記入	区以外が主催のとき
1	子ども支援課 令和4年度区立幼稚園・こども園(短時間保育)入園児を募集	令和4年度の区立幼稚園・こども園(短時間保育)の入園児募集のお知らせ			
2	子ども支援課 令和4年度区立保育園・こども園・幼保一体施設(長時間保育)などの入園申し込みのスケジュールが決定	令和4年度の認可保育園・こども園・幼保一体施設(長時間保育)などの入園申し込みのスケジュールのお知らせ			
3	児童・家庭支援センター 養育家庭体験発表会・児童虐待防止講演会	養育家庭(里親)の日々の体験を聞く発表会とネット・ゲーム依存に関する講演会を開催	11月9日(火)13時～16時	神田さくら館7階研修室	
4	児童・家庭支援センター 子育てサポートが受けられる利用会員登録説明会	自宅へ子育て・家族支援者を派遣し、宿泊や病後児の保育なども行う、千代田子育てサポート事業の利用会員登録説明会	10月22日(金)10時30分～11時30分	あい・ぽーと 麴町(三番町7)	NPO法人あい・ぽーとステーション
5	学務課 区立小・中学校に入学を希望する外国籍の方へ	令和4年度小・中学校に入学希望の外国籍の方を対象として、相談を行う	随時		
6	学務課 神田一橋中学校 通信教育課程の生徒を募集	通信教育課程の生徒募集	選考日=12月4日(土)	神田一橋中学校	

7	文化振興課	文化芸術の秋フェスティバル～コーラスフェスティバル～	コーラスフェスティバルの開催のお知らせ	10月17日(日)	日経ホール(大手町1-3-7)	
8	文化振興課	八つ縄文織りに関するミニセミナー&ワークショップ	八つ縄文織りに関するミニセミナー&ワークショップの参加者募集	11月5日(金)～7日(日)	カフェ・アマルフィー(六番町5-5)	手織り工房Jomon
9	文化振興課	将棋・囲碁大会	将棋・囲碁大会の参加者募集	11月27日(土)・28日	九段生涯学習館	
10	文化振興課	超贅沢なさわかみアラカルトコンサート	超贅沢なさわかみアラカルトコンサート	11月27日(土)	イタリア文化会館(九段南2-1-30)	(公財)さわかみオペラ芸術振興財団
11	文化振興課	ちよだ文学賞受賞者の発表	第16回ちよだ文学賞の受賞者の発表			
12	文化振興課	四番町図書館おはなし会	毎月開催している四番町図書館のおはなし会	毎週土曜11時～	2階児童室	四番町図書館
13	文化振興課	日比谷図書文化館開館10周年「日比谷から未来へ」	開館10周年を迎えることを記念した企画や展示	10月19日(火)～12月28日(火)	日比谷図書文化館	日比谷図書文化館
14	生涯学習・スポーツ課	成人水泳～ステップアップスイム～	15歳以上の方(中学生を除く)を対象とした水泳教室	11月22日～12月13日の毎週月曜(全4回)19時～19時50分	スポーツセンター	スポーツセンター
15	生涯学習・スポーツ課	歩いて走って目指せ100ポイント!	移動距離やスポーツセンターへの来館回数によって貯まるポイントプログラム	10月1日(金)～11月30日(火)	スポーツセンター	スポーツセンター
16	生涯学習・スポーツ課	椅子に座って太極拳	区内在住・在勤・在学者向けの太極拳教室	11月5日(金)、12日(金)(全2回)18時30分～	スポーツセンター	千代田区体育協会

17	生涯学習・スポーツ課	水泳競技大会(一般の部)	18歳以上の区内在住・在勤・在学者(高校生を除く)を対象とした水泳大会	11月28日 (日)10時15分 ～(受け付け9 時15分～)	スポーツセン ター	千代田区体育協会
18	生涯学習・スポーツ課	すぽすたちよだクラブ スタディ(文化学習)プログラム	すぽすた会員でない方も参加できる講座を開催 【料理のプログラム】季節の彩りワンプレートごはん	11月18日 (木)18時30分 ～20時30分	スポーツセン ター	九段生涯学習館
19	生涯学習・スポーツ課	九段LLカフェ講座	区内在住・18歳以上の方(高校生を除く)対象とした講座を開催	①11月20日 (土)②12月4日 (土)(全2回)14 時～16時	九段生涯学習 館	九段生涯学習館
20	生涯学習・スポーツ課	区民自主企画運営講座	18歳以上の区内在住・在学・在勤の方(高校生を除く)対象とした講座を開催	11月25日、12 月9日・23日、 1月6日・20日 いずれも木曜 13時30分～15 時30分	九段生涯学習 館	九段生涯学習館
21	生涯学習・スポーツ課	バウチャー後期ガイドブック	区民対象に区内の大学やカルチャーセンターなどで講座や講習会を受講した場合に、受講料の一部を補助する「講座・講習会バウチャー制度」を実施。対象としている講座を掲載している申請ガイドブックを配布	10月上旬配布	九段生涯学習 館	九段生涯学習館
22	生涯学習・スポーツ課	子ども水泳教室(第3クール)	区内在住・在学の小学1年生～2年生を対象とした水泳教室	11月5日～26日 の毎週金曜(全 4回)①15時～ 15時45分、② 16時～16時45 分	スポーツセン ター	千代田区体育協会